

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・都心店舗に比べてかなり遅いが、やっと春夏物が動き出した。ただ、メーカーが在庫をほとんど持っていないことから、売れ出した頃には在庫がなくなり、売り逃しが発生していることが惜まれる。
		衣料品専門店（営業・販売）	販売量の動き	・比較的高額な夏物スーツの注文が増えている。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・業務用の設備需要は依然として低迷したままであるが、家庭用一般客の動きが多少改善されてきている。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・今月はF グレードレースが開催されたほか、国際博覧会協賛のレースが開催されたことで来客数が増加した。
変わらない		一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・GWは天候に恵まれて客の出足が非常に良かったが、GW明けは以前からの買い控え傾向と悪天候のため来客数は減少した。
		一般小売店〔文具〕（経営者）	お客様の様子	・来店頻度が高く購入額の多い、いわゆる上客が減った。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	単価の動き	・最小限の物しか売れない。特に食堂、すし屋向けの売上が全く伸びていない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・来客数は減っているものの、売上の減少はそれに比例しているわけではなく、カード優待セールやブランドのポイントアップ期間中に、集中して購買する傾向が顕著にみられる。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・婦人服は、気温が低いために夏物の売行きが低迷している。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・宝飾品の受注会では取引がまとまる商品が少ないなど、例年になく高額商品の購入に慎重さがみられる。バーゲン商材については動きは良いものの、まとめ買いが少ない。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・GW中はイラク戦争やSARSの影響で海外旅行を中止した客の来店、購買が増え、特に高級ブランド品を中心に売上は前年を上回ったが、月末に向けては来客数、販売量とも前年割れの状態が続いている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・百貨店の基盤ともいえるミセス層の財布のひもが固い。割引販売や催事では買物をするが、普段の目的買いが減っている。
		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・毎日の売上は非常に悪いが、外商の販売員がセールスしている絵画、宝石は前年の売上を確保している。
		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・SARS問題等により、景気が不安定である。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・前半は特に訪問販売が過去最低といえるほど悪かったが、後半はイベント性のある催しで来客を促した結果、客の購買意欲が多少戻ってきている。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店の改装、新規開店、チラシの増加などにより増えつつある需要が分散化され、売上増加を達成するのは難しい状況である。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・休みの配列やSARSの影響があったのか、GWは好調に推移した。その後雨の影響はあったが予定の売上高は確保できる見込みで、特に食品は引き続き堅調である。
		スーパー（広報担当）	単価の動き	・衣料品、住居関連品だけではなく、食料品においても買上点数が減少している。一方、単価はようやく底打ちしてきた。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・買い替えのサイクルが伸びており、使える物は長く使うという傾向がみられる。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・今年の夏は猛暑が予想されていることから、エアコンの動きが良いものの、全般的には売行きが悪い。
家電量販店（企画担当）	単価の動き	・単価の上がっている品物が少なく、ほとんどが下落している。何も説明しなければ広告の商品しか売れないという状況である。		
家電量販店（営業担当）	単価の動き	・来客数、単価とも低迷しているが、特にクレジットカードでの買物が減少している。		

	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・販売台数に増加の気配はない。限られた購買見込み客の取り込みを営業活動の基本としている。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ピーク時間でも客の入りが悪くなっている。販売量も含め少し下降気味である。
	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・テナントとして入っているホテルには、SARSの影響で外国人の宿泊がかなり減少している。
	観光型ホテル (経営者)	お客様の様子	・法人関係の宿泊利用は相変わらず冷え込んだままである。また、個人客は宿泊利用よりも単価の安い日帰り利用へのシフトがみられる。館内での買物や飲食等の付帯利用については、財布のひもがさらに固くなっていると感じられる。
	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・例年であればもう少し来客数が増える時期であるが、SARS問題などいろいろな理由で減少している。
	都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・今年の業績は3か月前と変わらず悪い。直近の予約も少なく、SARSの影響が少なからずある。欧米ではアジアを敬遠する動きがみられるほか、日本国内でも台湾人医師の問題で関西が敬遠され、キャンセルなどが発生している。
	都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・SARS問題による直接の影響はなく、客の動向も特に変わりはない。レストランのランチ利用では客の減少がみられるが、連休の影響によるものである。
	旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・依然として海外旅行の需要には回復がみられず、国内旅行の需要も堅調に推移しているとはいえない。旅行需要そのものが冷え込んでいる。
	タクシー運転手	来客数の動き	・一連のSARS騒動による乗客の減少が懸念されたが、SARSの影響と思われるような事例は特になかった。しかし依然としてタクシーの乗り控え傾向に変化はみられない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・SARSの影響で、海外旅行から国内旅行へのシフトが起こっている。
	通信会社(社員)	販売量の動き	・新機種の登場を控え、買い控えが起きている部分があるものの、売行きは概ね良い。
	ゴルフ場(経営者)	来客数の動き	・ベテランゴルファーはプレー回数を確保するため、価格の安いゴルフ場へ流れている。しかし値下げをしたところで、来客数は増加するが効果は長続きしない。
	その他レジャー施設[イベントホール](職員)	来客数の動き	・物品販売会、集会等、イベントの来客数が昨年より減少している。単発の集会ではSARSの影響で参加者が減少した。
	その他レジャー施設(企画担当)	単価の動き	・国内レジャーには追い風が吹いているため集客はできるが、物品販売の単価が上がらない。
	美容室(店長)	来客数の動き	・来客数の増加をねらって新客フェアを行っているが、一度目の来店はあっても継続客となるには至っていない。
	その他サービス[ビデオ・CDレンタル](エリア担当)	競争相手の様子	・新規出店に対して非常に慎重さが見受けられ、転廃業の動きもみられる。
	その他住宅[情報誌](編集者)	お客様の様子	・大手銀行への公的資金投入の件に関して、メインバンクとされる不動産デベロッパー数社にヒアリングしたが、現状では特に問題ないものの、将来的に用地取得への程度影響が出てくるか多少不安がある。不動産の売りに影響が出るとすれば、早くて半年後以降になると考えられる。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・SARSの影響が大きい。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・メインブランドの販売が落ち込むなど買い控えがみられる。さらに季節ごとのDM、折込チラシ、厳選したノベルティーをつけても、売上が伸びない。
	一般小売店[酒](経営者)	来客数の動き	・5月中旬以降は回復してきたものの、GW中の落ち込みをカバーしきれていない。
	一般小売店[精肉](管理担当)	販売量の動き	・SARSの影響が深刻になるにつれ、外国人旅行者向けホテルからの需要が落ち込んでいる。

	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・来客数が前年比で5%減となっている。まとめ買いが少なくなっており販売量が減少している。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・SARSの影響もあり、広告媒体等でお買得品を提案しても効果が上がらない一方で、リサイクル商材は好調に推移するなど、単価の下落に拍車がかかっている。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・5月前半は近場で休暇を過ごす人が予想通り多かったため、中、大型店では売上が伸び、小型店でも平日並みの売上が確保できた。しかし月後半は野菜の相場も前年並みとなり、売上の押し上げ効果がなくなっている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・安い商品をチラシで告知すると、その商品のみの購入でほかの商品は売行きが悪い。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・例年であればドリンク類の売上が増えて客単価が上昇する時期であるはずが、逆に下落している。
	衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・不景気に加えてSARSの影響で人との交流が少なくなり、全般的に消費が低迷している。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・連休明けから来客数が減少し、購入姿勢にも慎重さがみられる。車の受注ペースは非常に悪い。
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・前年比で2割程度、販売台数が落ち込んでいる。
	その他専門店【宝石】（経営者）	来客数の動き	・SARS問題で海外からの客が減少したが、買取と販売の両面で営業展開していることで、影響を和らげることができている。
	観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・SARS問題が発生し、来客数が著しく落ち込んでいる。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊については、まずSARS問題で感染エリアからの団体観光客が激減している。また、企業による出張利用では、各企業が出張手当の一律支給から実費精算に変更して経費を圧縮させていることから、格安のインターネット予約が増加し単価を引き下げている。 ・宴会は、開催の中止又は会議のみで飲食をカットする傾向が顕著である。
	タクシー運転手	来客数の動き	・夜間の客の減少が激しく、待ち時間が長くなってきているため、売上が減少している。
	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・安価なイベントには家族で参加するが、お金がかかるものはあまり集客力がない。
	観光名所（経理担当）	来客数の動き	・大型連休が飛び石であったため来客数が減少したが、客単価も低くなっている。
	遊園地（経営者）	来客数の動き	・SARSの影響で、学校などから予約のキャンセルが出ている。
	その他サービス【学習塾】（経営者）	競争相手の様子	・会合などで必ず入塾状況の話題になるが、どこもかなり悪い。教育費にまでお金がまわらないというのが現状である。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・すでに契約を結んだ客から、今年から年収が下がるためローンの支払いに不安があるとの理由で、キャンセルしたいとの連絡があった。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・現在商談中の客は、自営業や公務員等の高額納税者及び収入が安定している人で、年齢についてもやや高齢が多いなど、客の範囲が狭まってきており、全体数が少ない。
	その他住宅【展示場】（従業員）	来客数の動き	・住宅展示場への来客数が激減している。住宅購入を促す税制特例の効果が思ったほど表れていない。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・入学、入社式の需要期が過ぎて商店街の人通りが少なくなり、買物袋を持っている客も少ない。
	一般小売店【菓子】（経営企画担当）	販売量の動き	・今月の売上前年比を地域別にみると、関西が約81%、関東が約114%、中部が約105%となり、売上構成比の全体の約7割を占める関西が極端に悪い。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月に入り、閉店時間を20時まで延ばした効果がなくなっている。特に18時以降は3階以上のフロアへの来客数が極端に少なく、売上も10～12時までの開店時の売上と同じ水準になるなど、伸び率も鈍化傾向にある。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・来客数が減少している。また、近隣にスーパーが開店したこともあり、客の動きに大きな変化がみられる。

		衣料品専門店 (店員)	それ以外	・商圏の人口が減ったせいか、人通りの減少が目立つ。
		一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・SARSの影響で空港の店舗は予算比で50%の売上にとどまっている。依然として来客数が前年実績をクリアしておらず、売上の回復が進んでいない。
		都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・今回は5月中旬のSARS騒動の影響でホテル業界は大きな打撃を受け、宿泊部門はキャンセルが相次いでいる。
		都市型ホテル (副総支配人)	販売量の動き	・宿泊は、SARSの影響で外国人宿泊客が減少するとともに、代理店からの予約案件は引き続き単価も下がっている。 ・レストランは一部を除いて前年を上回る傾向にあるものの、宴会は婚礼が厳しく、一般宴会で補いつつもトータルでは前年を割っている。
		旅行代理店(店長)	販売量の動き	・予約状況を見ると、国内旅行は前年を20%近く上回るなど好調であるが、海外旅行はSARS問題でかなり落ち込んでいるため、全体的には前年を20%下回る状況である。
		旅行代理店(営業担当)	お客様の様子	・昨年の5、6月はサッカーワールドカップの影響で受注状況が悪かったが、それと比較してもSARSの影響は大きく、回復の見込みは現在も立たない。さらにSARS感染者の台湾人医師の来日が発覚してからは、旅行受注が大幅に減少している。ただその悪い状況下にあっても、60歳以上のマーケットは健闘している。
		旅行代理店(広報担当)	お客様の様子	・SARS問題で、海外旅行から国内旅行へシフトが起こると期待していたが、台湾人医師の来日の影響で国内旅行も敬遠されている状態である。
		競輪場(職員)	販売量の動き	・売上、購買単価とも大きく減少している。3月から新たなシステムの導入を図ったが、導入当初はファンの期待から効果があったものの、今月に入ってその効果も薄れ大変厳しい現状である。
企業 動向 関連	良く なっている		-	-
	やや良く なっている			
	変わらない	食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・SARS、無認可添加物、BSEなど、食品価格の低迷、販売量の伸び悩みの原因となる事件が起こっていることから、消費が低迷している。
		パルプ・紙・紙 加工品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・5月のGW明けから受注量が少し落ちているが、受注内容をみるとSARSの影響でうがい薬が売れている。
		出版・印刷・同 関連産業(経営者)	取引先の様子	・ここ数か月、ソフト開発メーカーからの発注は横ばい状態である。本業の頭打ちで業態転換を図るクライアントからの需要もありそうだが、まだ顕在化するには至っていない。
		電気機械器具製 造業(経営者)	それ以外	・現状の品揃えでは売上が伸びないので、新しい商品の試作に挑戦している。
		電気機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・昨年に続いて景気がこう着状態にあるため、5月から役職手当の削減に踏み切ったが、液晶や半導体に関わるビジネスに対して、SARSの影響が意外に大きい。据付工事に行っても新しい商談ができないなど、困難な状況にある。
		電気機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・メーカーでもリサイクル、エネルギー関連のプラントを製造しているところは受注に比較的動きがある。
		輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今月になっても住宅関連の大口顧客の受注量が減っているなど、住宅建設の需要には回復がみられない。
		金融業(支店長)	それ以外	・SARSの影響で、現地生産している商品が入ってこないなどの被害が出ている。
		新聞販売店[広告] (店主)	受注量や販売量の動き	・新しい分譲マンションが建って読者は増えたが、総戸数に対しての入居率が低すぎることから、目標数には届いていない。
	コピーサービス 業(従業員)	受注量や販売量の動き	・取引先の製薬大手企業からの受注には堅調な伸びがみられるものの、広告代理店やIT関連の企業からの受注には減少がみられる。	
	その他非製造業 [民間放送] (従業員)	受注量や販売量の動き	・民放各局の決算をみても軒並み減収減益である。さらに今後は、SARSの影響による広告出稿の差控えも予想される。	

やや悪くなっている	金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・アジア向け輸出が停滞気味であり、その影響で国内価格が低下している。
	金属製品製造業（営業担当）	競争相手の様子	・1月～3月にかけて値上がり傾向にあった製品を、値下げして販売する会社が出てきた。
	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・製鉄所の検査設備の引き合いはあまり活発ではない。交渉、製作などに必要な期間を考慮すると納品までに1年以上の時間がかかることから、1年後には確実に売上が落ち込むことになる。
	建設業（経営者）	競争相手の様子	・同業者、協力会社の倒産が続いている。
	輸送業（営業所長）	受注価格や販売価格の動き	・荷動きが悪く、運賃の見直しを要請されている。
	金融業（支店長）	取引先の様子	・設備投資等に慎重な企業が多く、資金需要も少ないうえ条件等変更による返済負担の軽減の依頼が増加している。
悪くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・航空機部門が、官庁向けおよび民間向けとも注文が少なく苦労している。
	その他製造業 [ ゴム製プラスチック製履物 ]（団体役員）	受注量や販売量の動き	・消費不況で品物が売れない。SARS問題等で消費の低迷に拍車がかかっている。
	不動産業（営業担当）	取引先の様子	・賃貸マンションを借りる客の収入が減少し、さらに会社からの交通手当も減少していることで、通勤圏内で家を探す傾向がある。その結果、価格がより一層下がってきている。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・旅行関連を中心にSARSの影響が予想以上に出ている。
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・周辺企業での倒産、民事再生等が多数発生している。客のなかでも、支払の遅延等が発生している。
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・依然としてパート、派遣、請負等の求人が多くみられる。周辺企業からの新規学卒者等の雇用についても依然厳しい状況にある。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・自己都合離職者、事業主都合離職者は減少しているものの、20～34歳の若年者の雇用契約期間の満了による離職者が大幅に増加した。定年前の55～59歳の離職者も増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は過去2番目に多くなっている。ただ、派遣や請負などの求人が多く、求職者が積極的に応募するには至っていない状況である。
やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・4月後半から5月にかけて派遣社員の需要動向は厳しい。派遣社員から終了、交替の申し出があると、派遣先企業は欠員のまま社内ですりくりし、交替は一切受け付けない。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が前年比で減少傾向にある。また企業における人件費削減傾向が顕著となり、派遣依頼があっても正社員の代替需要で負荷が高いなど、雇用環境自体が悪化しつつある。
	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・4月に続き求人件数が減少している。今まで堅調だった飲食、サービス業のマイナスが大きい。
	新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	求人数の動き	・求人は低迷しており、特に中高年層の求人の低迷は著しい。
	職業安定所（職員）	それ以外	・大手企業のリストラについては、件数、退職者数とも落ち着いているようであるが、地域によっては希望退職者の募集は依然として続いている。
	学校 [ 大学 ]（就職担当）	求人数の動き	・5月に入って、採用を見合わせるとの連絡が増加している。
	学校 [ 大学 ]（就職担当）	雇用形態の様子	・1年ごとの有期雇用契約や、報酬の実績給での支払い等、従来は新卒者にみられなかった条件での求人が増加している。
悪くなっている	新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	それ以外	・戦争後のデフォルトの不安、SARS感染の不安によって旅行者数も減り、旅行業界と航空業界に暗い影を落としている。